

確定申告期間を迎え青色申告の相談会を開催

令和2年分の確定申告期間が始まり、青色申告を行う農業者を対象にした相談会が開かれています。各会場では生産者がパソコンを持ち寄り、当JAの担当職員や税理士などが書類の作成方法や内容の相違を確認しました。

2月12日(金)に男鹿地区営農センターで行われた男鹿地区青色申告会の全体記帳会では、農業簿記のパソコン用ソフトを最新版に更新して昨年分からの変更箇所を確かめる生産者や、JA職員に疑問点を聞いて書類作成に励む姿も見られました。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、今回の申告期限は4月15日(木)までとなっています。

JA職員とともにパソコンでの確定申告に励む生産者

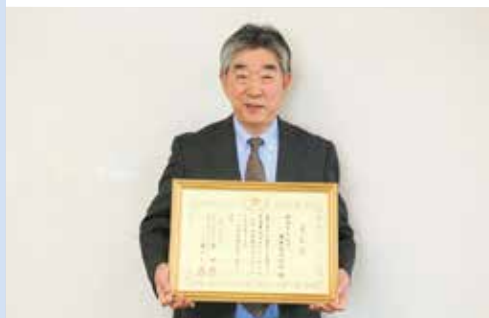


秋田中央警察署から交通安全への尽力に表彰状

役職員が協力して交通事故の防止に尽くした事業所として、秋田中央警察署から当JAに表彰状が贈られ、日頃から交通安全を意識して活動している業績が評価されました。当JAでは日常での交通安全に加え、未就学児に交通ルールを教える交通安全教室や、中学生や高校生に自転車の安全走行を呼び掛ける授業、年金友の会会員を対象にした交通安全落語などを催して、交通ルールの大切さを啓発する活動に取り組んでいます。

これからも役職員一同が道路走行時の安全運転や交通ルールの順守、作業時の事故防止を徹底し、地域の皆様が安全に生活できるように努めていきます。

交通事故防止に尽力した業績が評価されました



NEWS & TOPICS

秋田市農業大賞に(農)アグリあいかわ

秋田市農業大賞の表彰式が、2月4日(木)に秋田ビューホテルで開催されました。同市雄和で水稲や大豆、枝豆やネギなどを栽培する農事組合法人アグリあいかわが、令和2年度の秋田市農業大賞に輝きました。同法人は小学校の旧校舎を活用してライスセンターを整備しているほか、サテライト型の園芸メガ団地に取り組んで枝豆とネギの栽培規模を拡大し、地元の雇用創出にも努めており、地域に根ざした農業経営に励む点が評価されました。

秋田市農業賞は、農産物の安定生産や農業の体験活動、農村の環境保全活動などに尽力する4個人と1団体が受賞しました。農業子ども絵画コンクールに入選した児童10名の表彰や、市農政協力員12名の永年勤続表彰も行われました。

代表理事の伊藤洋文さんは法人の設立経緯や栽培概要を発表し、「地域に信頼される法人を目指して、農地の管理を徹底するよう心掛けています。集落に貢献して、地域社会のリーダーとなる存在を育てていきたい」と語りました。

大賞以外の秋田市農業賞受賞者は次の通りです。(敬称略)
▽経営体部門土地利用型の部 柏谷武嗣(同市新城区)
▽経営体部門園芸生産の部 藤田静雄(同市河辺)
▽若手農業者部門 柴田秀俊(同市旭川)

表彰状を受け取る伊藤さん(右)

表彰状を受け取る伊藤さん(右)

受賞者の皆様



農業法人の設立経緯と今後の抱負を語りました

